

アジアへ ようこそ!

アジアはとても広いところです! 同じアジアでも、地域によって話す言葉がまったくちがっています! 西アジアではセム語族の言語が、そして南アジアではさまざまなインド・ヨーロッパ語族の言語が使われています。東アジアでは中国語族、そして東南アジアに行けば多種多様な言語グループが見られます。ここでは、アジアのおもだったいくつかの語族やグループを紹介しましょう。

シナ・チベット語族

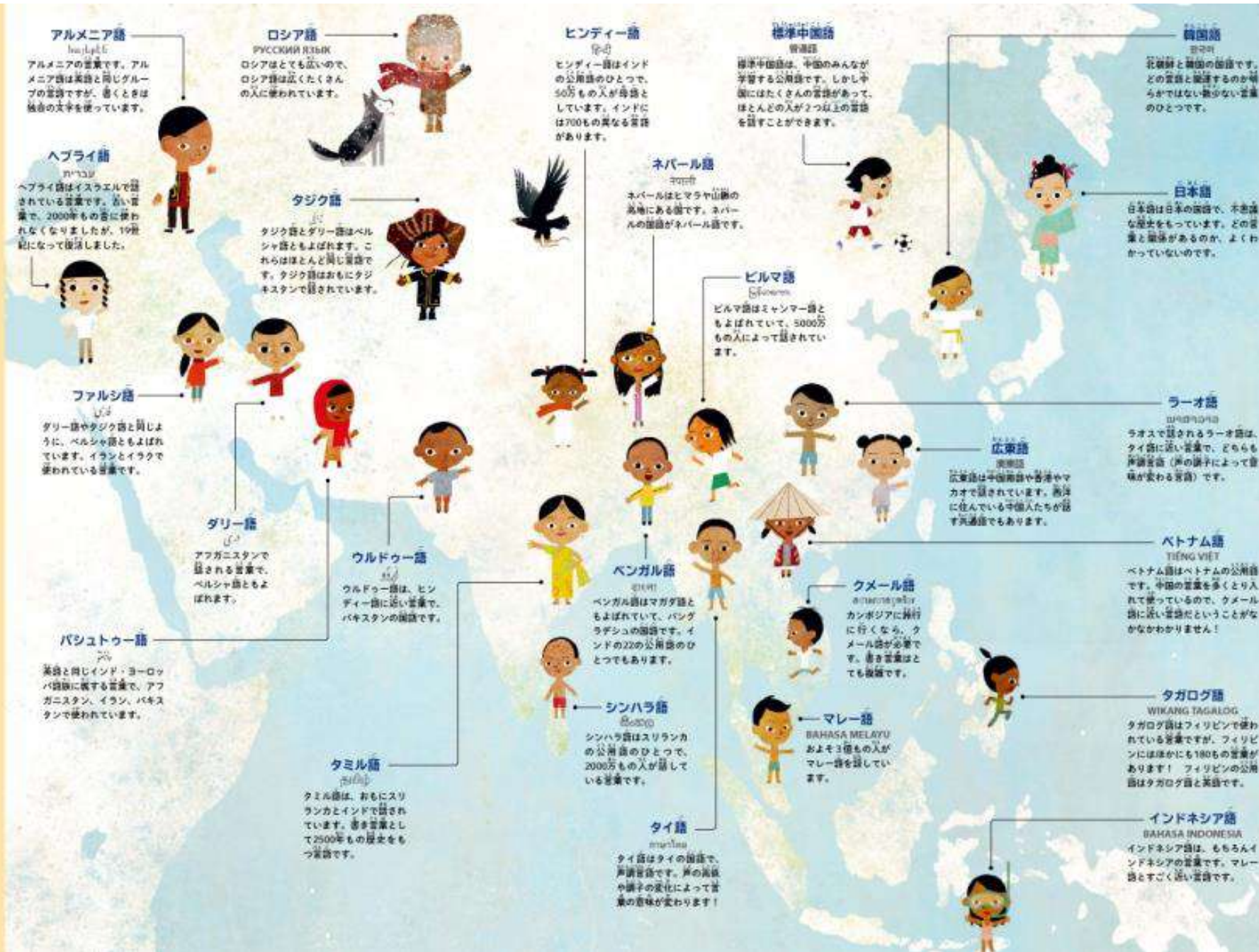
このグループには400もの言語があって、それぞれに大きなちがいがあるため、共通する点を見つけるのはたいへんです。このなかで、もっとも話す人の多い言葉が中国語(標準中国語や広東語)と、ビルマ語です。

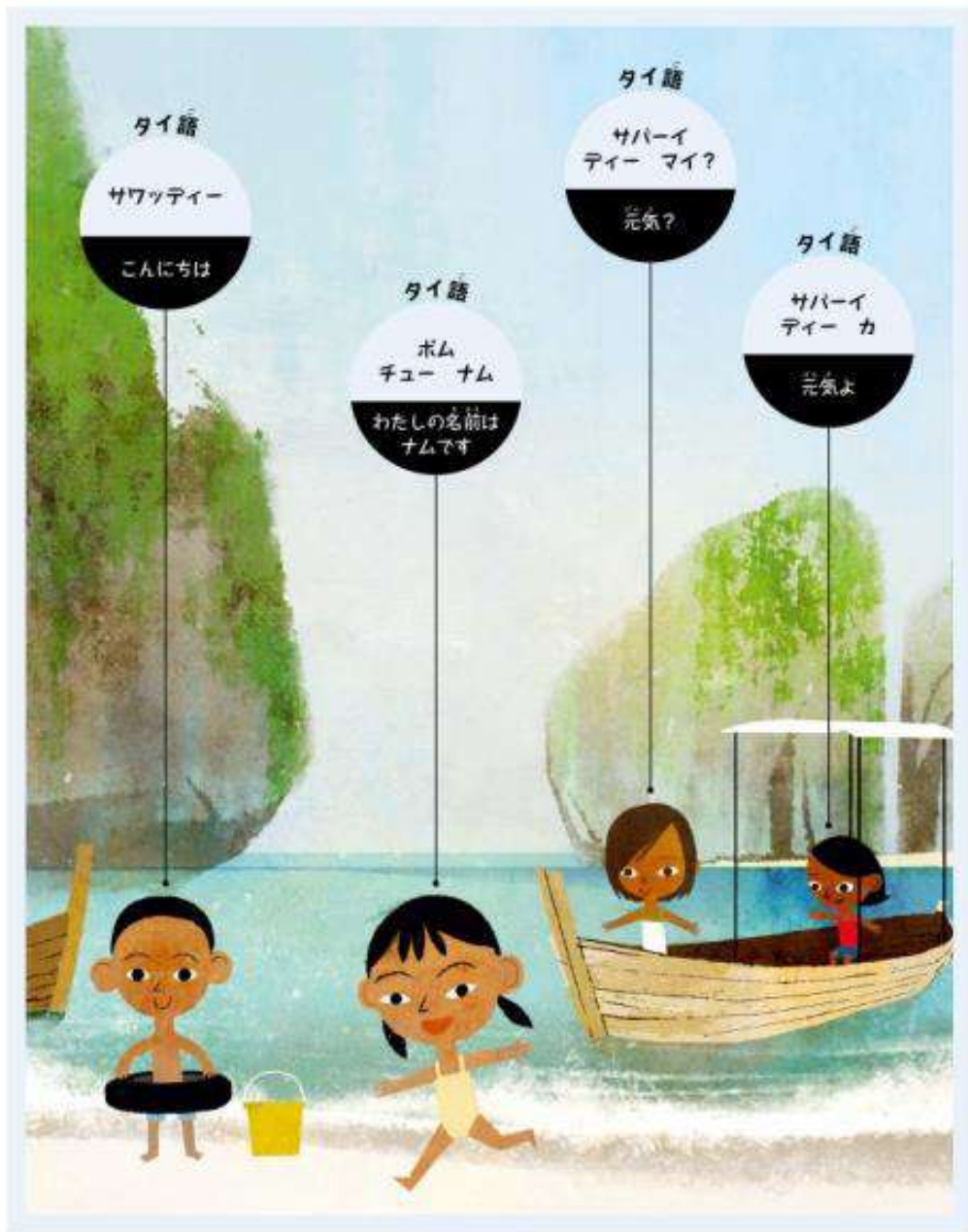
インド・アーリア語グループ

インド北部で話されている言葉のほとんどは、インド・アーリア語グループです。ヒンディー語やベンガル語が、このグループです。ヒンディー語は、ヒンドゥスターニー語ともよばれていて、パキスタンのウルドゥー語もそのなかまです。ヒンディー語とウルドゥー語はたいへんよく似た言葉ですが、書くときは別の文字を使います。

セム語グループ

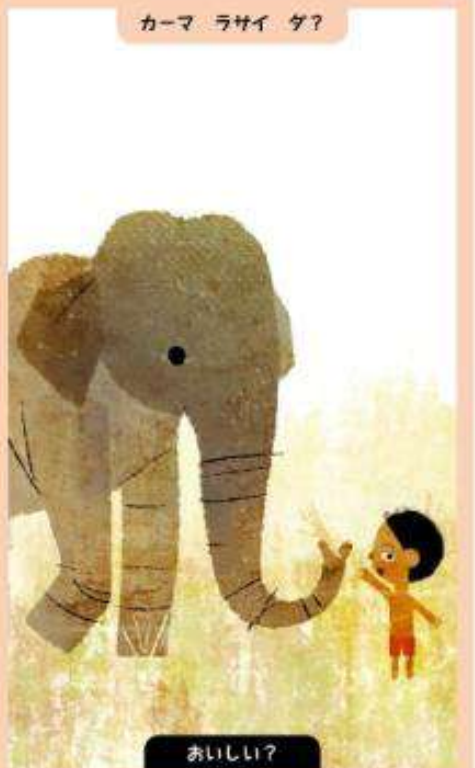
セム語グループには、ヘブライ語とアラビア語があって、西アジアのほとんどの地域では、この2つの言葉のどちらかが話されています! セム語グループの言葉はエチオピアやエジプトやモロッコといった北アフリカの国ぐにでも使われています。







スジットはベンガル語を話します



ヴィシンダはシンハラ語を話します



タリクはウルドゥー語を話します



ナーミーはタミル語を話します

